

環境調査結果のお知らせ

概況

本日、環境調査を行いましたので結果を送付いたします。

水深5mで28℃以上となっている地点があります。また、溶存酸素量が5.0mg/Lを下回っている地点があります。

検鏡の結果、魚類に対して有害なディクチオカ属が最大10細胞/mL、ケラチウム属が最大1細胞/mL確認されました。また、魚類に対して無害とされていますが、二枚貝の変色（赤変）を引き起こすメソディニウム・ルブラムが最大で2細胞/mL確認されました。

柱状採水（0～10mの海水をひとまとめに採水）した海水では、主に麻痺性貝毒の原因種とされるアレキサンドリウム属が藻津で0.03細胞/mL、ヒロウラで0.01細胞/mL確認されました。

アレキサンドリウム属は、主に二枚貝（食用を含む）を毒化させる恐れがあるので十分注意してください。

今後、養殖魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	ディクチオカ 属	ケラチウム 属	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	メソディニウム・ ルブラム
	(m)	(℃)		(mg/L)				
A 藻津 (-/35.8m) 【09:19】	★ 0	27.1	28.6	6.4	10	0	0	0
	5	27.9	33.9	5.7	2	0	0	0
	10	27.8	33.9	5.5	0	0	0	0
	15	27.6	33.9	5.5	-	-	-	-
	20	27.2	34.0	6.0	-	-	-	-
B 大島中央 (-/32m) 【09:28】	★ 0	26.7	24.4	6.2	2	0	0	0
	5	27.7	33.9	5.2	0	0	0	0
	10	27.6	33.9	5.7	0	0	0	0
	15	27.4	34.0	5.8	-	-	-	-
	20	27.3	34.0	5.8	-	-	-	-
C 小筑紫中央 (-/47.7m) 【09:38】	★ 0	26.4	21.6	6.7	4	0	0	0
	5	27.7	33.9	5.7	0	0	0	0
	10	27.5	33.9	5.3	0	0	0	0
	15	27.3	34.0	5.8	-	-	-	-
	20	27.2	34.0	6.1	-	-	-	-
D 栄喜奥 (-/11.6m) 【09:56】	★ 0	26.3	16.1	6.5	0	0	0	2
	5	27.9	33.9	5.3	0	0	0	0
	10	27.6	34.0	4.7	0	0	0	0
E ヒロウラ (-/24.2m) 【10:16】	0	25.8	16.4	6.6	0	0	0	0
	★ 2	27.9	33.6	5.3	0	0	0	0
	5	27.8	33.9	5.4	0	1	0	1
	10	27.7	33.9	5.3	0	0	0	0
	15	27.5	34.0	5.8	-	-	-	-
	20	27.3	34.0	5.7	-	-	-	-
F 青瀬山 (-/15.5m) 【10:04】	★ 0	26.5	21.6	5.5	0	0	0	0
	5	28.0	33.9	5.4	1	0	0	0
	10	27.5	34.0	5.4	1	0	0	0
	15	27.3	34.0	5.4	-	-	-	-

クロロフィル量が極大の深度および、0m、5m、10mの深度から採水した海水の検鏡を実施しています。

★：採水したサンプルの内クロロフィルが極大であったもの

プランクトンの細胞密度について、小数点第2位まで記載のあるものは、海水100mLを濃縮して検鏡しています。

こちらの「環境調査」は、高知マリンイノベーション情報発信システム「NABRAS」(URL：<https://kmi-nabras.pref.kochi.lg.jp>)においてもご覧いただけます。

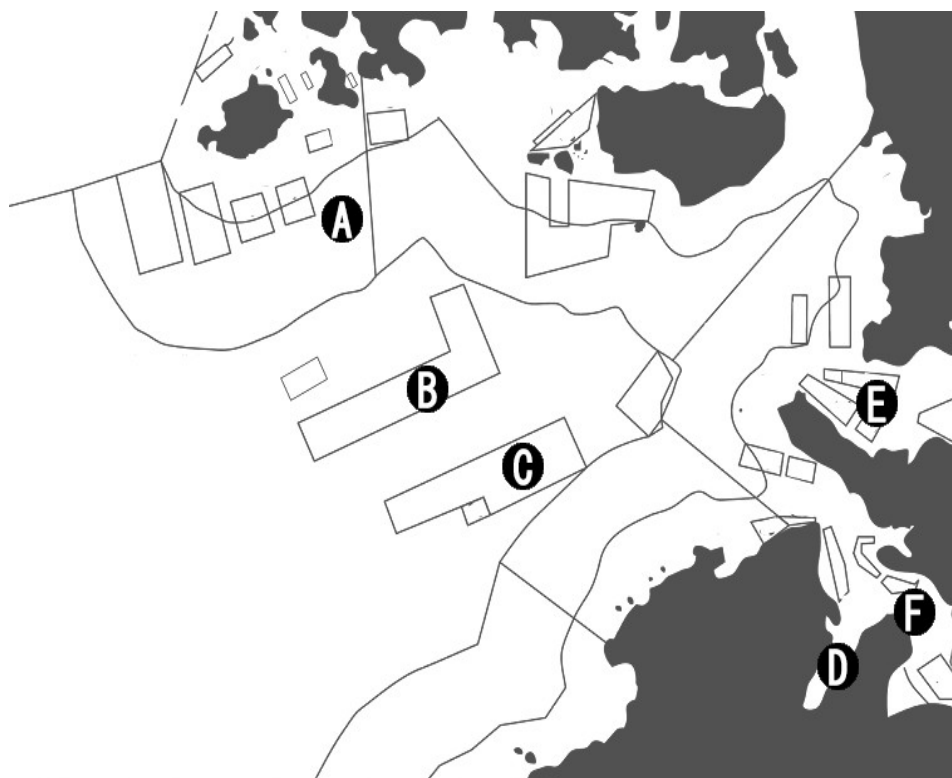
参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3
				宿毛湾
ディクチオカ属	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	—
ケラチウム属	魚類の餌食い悪化	100 cells/mL	—	—
コクロディニウム・ポリクリコイデス	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	5～6月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



A: 藻津

D: 栄喜奥

B: 大島中央

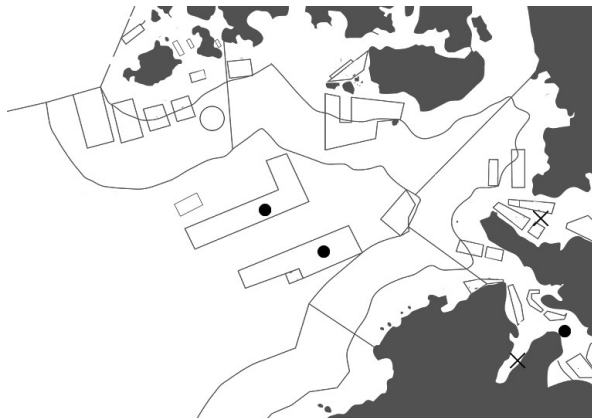
E: ヒロウラ

C: 小筑紫中央

F: 青瀬山

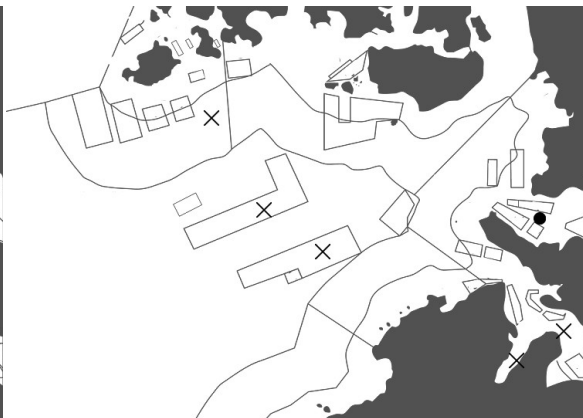
ディクチオカ属

最大細胞密度



ケラチウム属

最大細胞密度



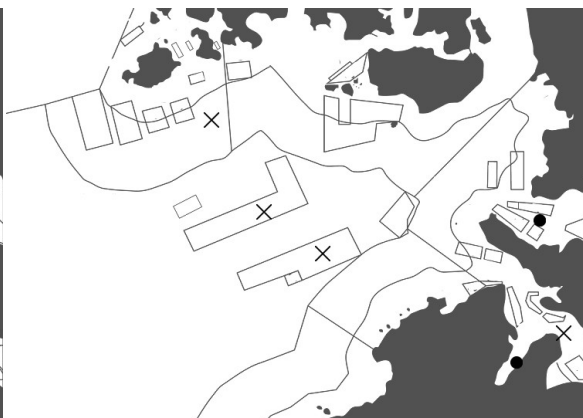
コクロディニウム・ポリクリコイデス

最大細胞密度



メソディニウム・ルブラム

最大細胞密度



凡例

プランクトンの細胞密度を示す円の大きさ

円のサイズが大きいくほど、プランクトンの数が多いので注意してください。

0

x

1~9

●

10

○

100

○

1,000

○

10,000

○

100,000

○

300,000

○

注意・警戒を示す円の色

黄・赤色の円が確認された場合は、魚介類に悪影響が生じる可能性がありますので、注意してください。

基準値は、「参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準」を参照ください。

注意基準の値以上



警戒基準の値以上

